

評価のポイント

CL-1.看護実践能力：意思決定を支える力

[44-1] 人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン

1. 「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に名称が変更された意図は何ですか？

資料7・8を確認して欲しい。病院における延命治療への対応を想定した内容だけではなく、在宅医療・介護の現場で活用できるように「ケア」や医療・ケアチームの対象として「介護従事者」が含まれた点が述べられるとよい。

2. 本人の意思は、心身の状態の変化等に応じて変化しうるものである。医療・ケアの方針や、どのような生き方を望むかをあなたはどのように患者に尋ねますか？

自分の言葉でどのように言うかまずは考えさせてみて欲しい。事例1のような場合、まずは本人の呼吸困難感を軽減する介入をできる限り行う。その上で、「きつい状況かと思うのですが、今からの治療についてご家族も含めて少しお話してもいいですか。こういう治療は受けたくないと思っていたことはありますか。」等の問いかけから、本人の価値を引き出すということに気付けるとよい。

3. 家族等の信頼できる者に対して、患者の推定意思を引き出すには、どのように尋ねたらよいでしょうか？

本人の考え方、言動、価値観、人生観をよく知る家族や重要他者から引き出すことが重要である。自分の言葉で考えさせてみて欲しい。例えば、以下のように問う。

- ・もし今本人が話せたとしたら〇〇と言っていたと思いますか
- ・普段から〇〇について何か言われていたことはありますか
- ・近親者の死別の経験があったら、お看取りの際何か言われていたことはありますか 等